

ゆりはま 議会だより

Vol. 79

令和5年11月1日 発行
発行：鳥取県湯梨浜町議会



湯梨浜町議会
ホームページはこちら

決算認定

たじりこども園R7開園

委員会視察

一般質問

2

6

8

9

「ゴール目指してよーい、ドン」
(あさひこども園)

来を見据えた対策を

歳出 決算額	一般会計	106億2278万円
	特別会計	40億7111万円



収入未済額（全会計）

前年度比846万円の増加。受益者負担で支払うのが原則だが、生活困窮者には福祉サービスをすすめるなどの対応を。



支え愛活動支援事業

コロナ禍で新規のマップ作成が進まなかった。地域の見守り体制や災害時の避難体制を強化するために、支え愛マップ作成・更新を。



地方路線バス維持事業

1459万円

地方路線バスの民間事業者は、燃料価格上昇と観光客減少で収益が減少。また、運転手確保の課題もあり、新たな公共交通手段の検討を。



さくら工芸品工房管理運営事業

175万円

近年の猛暑にエアコン能力が対応できていない課題がある。受益者負担も考慮し、設備更新の検討を。

努めつつ、課題に対応を

まずは、新型コロナウイルス感染症予防対策に、町長をはじめ、全職員が感染防止に尽力いただいたことに感謝を申し上げます。

令和4年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症対策として子育て世帯、住民税非課税世帯などへの臨時特別資金の給付、商品券発行など商工業者への支援も行った。町営住宅レークサイド長江団地の完成、旧東郷中学校の解体、旧北渚中学校用地購入（北栄町分）、たじりこども園の実施設計・地質調査などを実施した結果、歳出は146億9400万円の決算額となった。

町財政運営面にお



代表監査委員 金涌 孝則



堅実財政だが、将

9月定例会は、8日から22日までの14日間の会期で開催しました。9月定例会は「決算議会」と言われ、令和4年度の一般会計及び特別会計の決算審査が中心です。決算審査特別委員会を設置し、審議した結果、一般会計及び特別会計の総額146億9千万円の支出を認定しました。ここでは、議員視点で決算審査の結果をお届けします。



その他の事業もチェック!!

歳出 道路メンテナンス事業

令和4年度は町内59橋の点検を実施し、長瀬8号、28号橋の2か所を補修した。

歳出 少人数学級実施県負担金

令和4年度は、小学校1～3年生は30人、4～6年生、中学1年生は33人で編成。中学2～3年生は35人で編成。

歳出 電子申請システム負担金

電子申請取扱手続きは2件増加して、16件となった。

歳出 コンピュータ機材整備事業

町内各小学校に液晶ディスプレイ12台ほか、ICT機器を整備した。

歳出 運動部活動推進事業

中部地区では1市4町で休日部活動の地域移行について検討を行っているが、部活動の受け皿、練習施設の確保、生徒の送迎など解決すべき課題がある。

歳出 定住促進対策事業

住宅の新築、購入、改修を対象としている住宅支援事業補助金の申請はなかった。物件購入より賃貸で入りたいという移住者が多い。

歳出 ファミリーサポートセンター事業

提供会員2名増、依頼会員20名増。子育て支援センターなど、自宅以外の場所でも託児を受けるケースもある。

放課後児童クラブ事業

(関連記事は5ページ)



5480万円

4年度から民間事業者に委託。支援員の研修、保護者へのお便り発行などが充実した。一方、夏休み期間に過密な状態が生まれたクラブもあるので対策を検討すべき。

鳥獣被害総合対策事業



877万円

地域の要望に応じて鳥獣被害総合対策事業が進められている。いまだ被害が続く地域もあるため、今後も個体数を削減するための努力を継続すべき。

監査委員の意見(抜粋) 財政健全化に

いて、経費節減、起債の繰上償還の実施、有利な財源の活用など財政健全化に努力している。しかし、国民健康保険事業特別会計、介護保険特別会計で保険給付費が増加傾向にある。他にも上下水道施設の更新など各種課題がある。町民、関係機関の意見を聞きながら、議会へ説明し、課題に取り組んでほしい。

受益者負担ゼロへ

☆これまで、今滝梨生産団地造成事業は、国庫補助事業の、農地耕作条件改善事業で進めていたが、令和5年度新規事業の、国の畑作等促進整備事業に事業変更をする。変更で国の補助率が上がり、町負担及び受益者負担が減る。

問 事業の変更で、工事の内容や工事期間などの変更はないのか。

答 事業概要に変更はない。今年度に入り急な変更となった。県・国と調整を行い、当初のスケジュールで採択を得た。工事期間は、令和5年度から7年度の3か年の予定。

問 変更後の事業の要件は。

答 水田の面積の2分の1以上を畑作とすること、事業地が中山間地域で、国の補助率が65%、県が17.5%、町が



今滝梨生産団地予定地

問 水田面積の2分の1以上を畑作とすることとなっているが、2分の1未満では対象外となるのか。

答 2分の1未満だと、国の補助率が5%になる。

問 2分の1を水田から畑地にする要件であるが満たしているか。

答 対象地は現在、一部畑地であるが、元は水田地帯。要件は満たしている。

古民家で農家民泊

☆県補助事業を活用し、古民家をリフォームして農家民泊を行う事業者を支援。梨づくりや農業体験型の旅行など、交流人口創出に対応する。

問 交流人口創出とあるが、具体的には。

答 梨農家の暮らしや梨作業の体験。また民泊の予定地は東郷湖周辺なので、ウォーキングやサイクリングなどを計画している。

問 湯梨浜町では、民泊をする農家は初めてか。民泊はどれくらいの規模の計画か。

答 初めてだと認識している。年間20人程度の計画。概算事業費は660万円、2分の1補助で、補助金の上限は300万円となっている。

空き家を貸し出し

☆移住者の住居の受け皿として、空き家を改修し貸し出す「湯梨浜まちづくり株式会社」へ補助金を支給する。

問 どのような仕組みなのか。

答 まず、所有者から同社が空き家を借り受け、修繕する。

所有者に対しては、10年間借り上げの契約で固定資産税相当額の賃借料を支払う仕組み。

問 改修する空き家はもう決まっているのか。

答 空き家バンクに登録している物件の中から検討する予定。想定としては、県外の移住者に中山間地に住んでいただき、定住につながればと思う。

民間委託で運営が安定

☆令和4年度から民間事業者に委託された放課後児童クラブ。運営状況について報告を受けた。

問 人件費を増額すれば、直営でも運営ができたのでは。

答 支援員の確保は行政だけでは困難であったが、民間事業者のノウハウが効果的に働いた。

問 利用児童、保護者と委託業者との関係は良好か。

答 問題が発生すれば、支援員で迅速に対応。報告は子育て支援課に上がり、情報を共有している。アンケート結果でも、保護者の90%以上が満足している。



放課後児童クラブで楽しく過ごす子どもたち

問 過密な状況のクラブについて、対策は。

答 施設規模や利用条件など様々な方法を検討。皆さんの意見を聞きながら方向を示していきたい。

新たな「みんなのげんき館」事業は再検討

☆社会福祉協議会のつわぶき荘の空き部屋を改修して、高齢者のフレイル対策を進める計画であった。しかし、交付金などの財源確保が困難で、本年度の事業は無理だと判断した。

問 今回の計画は、地元の要望だったのか。

答 地元要望ではない。高齢者のフレイル対策を進めようと計画した。

問 代替りの事業を検討するのか。

答 今年度は予算を含め事業を取り下げ、再検討したい。



体組成計で健康管理
(総合相談センターどれみ)

問 介護予防であれば、公民館事業でする必要がないのでは。

答 教育委員会で行うか、健康・福祉の分野で担当するのは今後調整していく。

健康課題を見える化する

☆健康の保持増進を目的として、第3期保険事業実施計画（データヘルス計画）を策定する。期間は、令和6年度から11年度までの6年間。

問 「ゆりはまヘルシーくらぶ」での活動量計などは、自分で見て確認できるので効果的。

答 他にも、色々な機器を使った取り組みも検討できないか。

問 健康ゆりはま21計画でも併せて検討したい。

答 コロナの影響か、外を歩く人が減った気がする。出かける機会や、皆が集まって会話する機会を増やすことが必要では。

問 生活習慣病には身体運動が一番。その辺りも視野に入れて計画策定に取り組みたい。

一般会計補正予算

総額

5億276万円を追加

109億6666万円

9月 定例会

たじりこども園

令和7年4月開園へ

令和5年9月定例会は、9月8日から22日まで開催されました。

今定例会では、令和4年度決算16議案をはじめ、補正予算6議案、指定管理者の指定

1議案の計23議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。

ここでは、その一部を紹介いたします。

補正予算

年度内着工

・たじりこども園施設整備事業

3億8855万円

旧北浜中跡地へ新築移転する。定員150人（30人の増）で計画。令和7年度の開園

に向け、今年度、建設工事に着手する。

3年間の全体事業費は10億7850万円の予算となる。

農家民泊施設を支援

・観光客の心に響く滞在型地域創造事業補助事業

300万円

梨づくりや農業体験型の旅行ができる農家民泊施設を整備することにより、魅力ある滞在エリアの創造が図られる。

新たな交流人口創出に向けた事業要望に対応するため、県補助金を活用。

空き家となつている古民家を農家民泊施設にリフォーム活用する事業者を支援する。

倒木被害を

事前に予防

・危険木等事前伐採推進事業

200万円

倒木による道路、公共施設、河川、電気設備、通信施設への影響、停電、通信障害の発生など、住民生活に大きな影響を及ぼす恐れのあるものを事前に伐採するもの。

その他

指定管理の

指定について

町は松崎駅前多世代交流センターの指定管理者として、「湯梨浜まちづくり株式会社」を選定した。

指定の期間は令和5年11月1日から令和10年3月31日まで。

選定理由は、同社がふるさと納税受託業務や松崎駅前総合相談センター・お試し住宅などの管理運営業務、移住促進業務を受託し、自主財源の確保を含め、健全に持続的な運営を図っているため。

慰霊碑の

転倒防止工事

・民間建立慰霊碑移設等事業

200万円
泊地域（灘郷神社敷地内）にある戦没者慰霊碑は過去の地震によって劣化が進んでいる。

これまで管理していた戦没者遺族会泊支部が会員の高齢化などにより、支部での管理が困難になっている。被害を未然に防ぐため転倒被害防止措置を行う。



補強される慰霊碑

一般会計補正予算

3880万円を増額

7月臨時会 8月臨時会

7月臨時会

7月臨時会は、7月25日に1日の会期で開催されました。補正予算1議案、工事請負契約の締結1議案の計2議案が提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

外壁の一部を改修

・コミュニティ施設管理臨時経費

98万円



外壁改修（羽合西コミュニティ施設）

羽合西コミュニティ施設の外壁の一部が落下したため、湯梨浜町コミュニティ施設の設置及び管理に関する条例に基づき、その施設を改修する。

今年度内に増築

・羽合小学校教室増築工事

2億2121万円

羽合小学校における教室不足に対応するため、教室棟を増築する。

令和11年度までの推計によると、児童数が増加し、かつ学級編成

が35人から30人に移行することを考慮。

位置は既存校舎の北東部で、サッカーコートに影響のない場所。

構造は鉄骨造平屋建て、教室3クラス、多目的スペース、トイレなど。

内装は木質系材料を使用し色彩に配慮。

クラーエー・パルス特定建設工事共同事業体が受注、工期は来年2月末まで。

8月臨時会

8月臨時会は、8月9日に1日の会期で開催されました。補正予算2議案が提案され、いずれも原案のとおり可決しました。

診療所へ支援

・新型コロナウイルスワクチン予防接種事業

249万円

町内で新型コロナウイルスワクチン接種を実施している診療所に対して、個別接種促進支援を行う。

今回補正は、令和5年春に開始した重症化リスクが高い者を対象にした接種についての支援である。週100回以上の接種を4週間以上行った場合、週100回以上接種した週において1回あたり2000円を支給する。

資金不足へ対応

・国民宿舎事業会計貸付金

3500万円

令和5年と6年度で、国庫支出金と公営企業債を財源に施設を改修する。国庫支出金の一部は次年度の交付となり、資金不足が発生するため町が貸し付ける。



工事が進む羽合小学校

議会運営委員会

視察報告

議会への女性参画などを調査／町の課題を国会議員へ陳情

8/1 埼玉県三芳町議会

女性議員比率が全国1位の三芳町議会において、主に下記の3点について調査した。

- ①女性議員の割合比率全国1位に関わる政策について
- ②議会の広報・広聴活動について
- ③議会改革の推進について



今回の三芳町議会への視察研修を通じて、女性や若者へ啓発活動を強化し政治への参画意識を高める必要性を強く感じた。議会の多様性を高めるための様々な努力を積極的に行っていきたい。

8/2 東京都千代田区
(衆議院会館・参議院会館)

湯梨浜町が直面している重要な課題下記4点について、鳥取県選出国會議員に面談し陳情活動を実施した。

- ①医療的ケア児の就学に対する支援について
- ②社会資本整備総合交付金等の拡充について
- ③病児保育施設に係る財源支援の拡充について
- ④参議院議員選挙における合区の解消について

<まとめ>

現在、湯梨浜町議会において、女性議員の割合は非常に低い。女性の視点や経験は、政策決定において欠かすことのできない要素であり、より多様な意見やアイデアを取り入れることが重要である。また、議員のなり手不足という問題もある。

請願・陳情審査

常任委員会に付託した陳情は、慎重に審査を行い次のとおり決定しました。

陳情

件名	陳情者名	採決結果	委員会の意見
ガソリン価格の高騰に係る意見書の提出について (陳情)	足羽 佑太	不採択	燃料油価格激変緩和事業は既に見直され、ガソリンなど燃料油の新たな価格抑制策は実施中であるため。

ファクシミリ・電子メールでの提出も受け付けます！

請願、陳情の提出時に本人確認ができる書類を提出いただける場合は、ファクシミリ・電子メールでの提出が可能です。本人確認書類や記載内容、提出先など手続きに関する事は町ホームページをご確認いただくか湯梨浜町議会事務局へお問い合わせください。



一般 質問

町政を問う



9月定例会では、5人の議員が一般質問を行い、活発な議論を展開しました。一般質問とは、議員の日常の活動と調査研究、住民の声や自身の考え方にもとづき、町長や教育長の方針を問うものです。

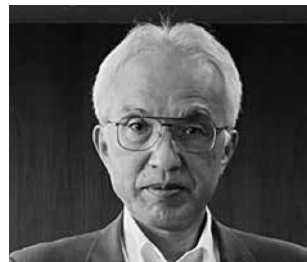
本町議会の質問時間は、1人60分以内で、質問回数に制限はありません。

質問者	質問事項	ページ
松岡 昭博	山間地行き止まり集落などの維持に向けた支援を	10
	地域おこし協力隊の成果と課題は	
中森圭二郎	湯梨浜町立図書館のイベント情報発信を	11
	産後ケア対象者の拡大を	
米田 強美	踏み込んだ空き家対策を	12
	買い物環境の整備は	
信原 和裕	带状疱疹ワクチンへの助成制度創設を	13
	迫る農業崩壊・食糧危機に町はどう対応するか	
増井 久美	公営住宅入居の際の保証人は廃止を	14
	きつおん 吃音のある子どもへの支援と理解を	

山間地行き止まり集落などの維持に向けた支援を

町長

どの集落にも必要な支援はする



まつおか あきひろ
松岡 昭博

☆山間地には、行き止まりの十万寺地区や麻畑集落がある。そこには、居住者は少ないものの、住み続け地域を守っている人達がいる。

【松岡】町は、このような地域をどのように支援されるのか、基本的な考え方を伺う。

【町長】町は、過疎地域持続的発展計画で「誰一人取り残さない持続可能な地域の実現を目指す」としている。

【松岡】十万寺地区に、除雪車のリターン場所を設置していただきたい。

【町長】民地を借用して整地し、除雪機械が回れ

るよう、除雪期までに関係者と調整していく。

【松岡】地元設置の水道施設の維持管理が困難であり、支援をしていただきたい。

【町長】両地区とも水道法の適用外で、対応できていなかったが、今後は安心安全な水の確保ができるよう話し合い、対応する。

【松岡】安心して暮らすため、携帯電話不通話地域を解消していただきたい。

【町長】問題解決には事業者の基地局の建設・維持などの問題もあり、働きかけをしていく。



行き止まり集落（麻畑）

地域おこし協力隊の成果と課題は

町長

多くの成果の一方、不十分さもあった

☆地域おこし協力隊は、都市地域から移り住み、地域協力活動を行いながら、定住を図る取り組みである。

本町には、令和4年度までに18人が協力隊員として赴任し、4年度には7人が活動している。

【松岡】本町における協力隊の活動の成果と課題を、どのように考えているか。

【町長】協力隊員は、都市部の視点や各種スキル・アイデア・行動力を持ち、空き家の情報収集や利活用、移住定住の促進、まちづくり会社の設立と運営、農作業支援や農産物PR、デジタル活用など、多岐にわたって



地域に出向いて協力隊員がスマホ指導

活躍している。課題は、早期退任と退任後の定住率の低さである。

【松岡】本町の協力隊員の定住率は、全国平均65・4%、県平均64・6%よりかなり低い。その理由をどのように考えているか。

【町長】本町の定住率は36・3%と低く、十分に能力が生かされない、希望する就職先がないなどが考えられる。「コミュニケーション」も含め、改善すべき点は改善していく。

湯梨浜町立図書館のイベント情報発信を

教育長

情報発信をしていく



なかもり けいじろう
中森 圭二郎



新しくなった図書館ホームページ

☆図書館のホームページにて、最近の図書館イベントの告知やイベント記録を見ることができない。公民館事業のように情報発信に力を入れてはどうか。

【中森】ホームページの更新が止まっているのはなぜか。

【教育長】町立図書館のホームページを作成したシステムが、現在の湯梨浜町のホームページシステムと連動していないため、イベント情報などの新規の情報発信をしてい

【中森】今後はLINEなどを用いて、町としてインターネット上で情報発信を行うことが増えると思う。写真などを用いて図書館のイベント情報を発信できる体制を整えてはどうか。

【教育長】当面の対応として、町のホームページ内に公民館と同じように町立図書館のサイトを設ける予定。イベント情報や新着図書情報などの情報発信をできるようにする。

産後ケア対象者の拡大を

町長

対応がとれるよう努力する

【中森】国は産後ケア事業の実施要綱を改正し、産後ケアの対象者が見直された。今までは「産後に心身の不調又は育児不安等がある者」、「その他、特に支援が必要と認められる者」であったが、改正後は「産後ケアを必要とする者」とされた。

湯梨浜町ではどう対応するのか。

【町長】県が8月から12月に、産後ケアなどについてアンケート調査を行い、実態把握をしていく。なるべく早く国の実施要綱に沿って対象者を拡大できるように努力したい。

【中森】産後ケアを担う事業者は少ない。担い手

不足を解消するために、どのような対応を行うのか。

【町長】受け皿となる事業者が少なく、多くの利用に対応することは困難である。

対象者を拡大するには、1市4町と委託先である医療機関と協議する必要がある。



産後ケア事業者の支援を

踏み込んだ空き家対策を

町長

区長が「対策協議会」に加わり、連携して対応



よねだ つよみ
米田 強美



空き家の利用について、相談を受ける地域おこし協力隊員（総合相談支援センターどれみ）

【米田】令和4年度末の特定（危険）空き家数が79件。指導に対する対応状況が35件だが、残り44件の対応を問う。また、地元自治会との連携による仕組み作りは、進んだのか。

【町長】35件は3年度に指導したが、回答がなく、再度指導を実施した者。44件は指導に基づき除却、回答があった者で電話や面会で指導した者。「特定空き家対策協議会」に区長が加わり、連携して取り組んでいる。

【米田】相当の期間を経過しても改善されない場合、勧告を行う。区長会で相当の期間を3年程度との発言があった。そう

であれば、勧告が相当数になると思うが対応は。

【町長】法律に基づき平成26年以降、条例・要綱を制定して取り組んでいる。3年で勧告するとしていたが、これは他自治体の事例を紹介したものの。しかし、これまで勧告していないのは怠慢と反省している。

【米田】法改正で、特定空き家に至る前に指導・勧告ができるが、解体費用の補助など、その対応は。

【町長】国からの政令・改正法が示された以降に検討する。また、補助金に関しては何らかの支援策は講じるべきだと考えている。

買い物環境の整備は

町長

県の制度を活かし、関係者と協議し進める

【米田】トスクやAコープの閉店の対策で、県は「買物環境確保推進課」を設置した。「買物環境確保計画」を策定すれば、支援がある。計画の取り組みをどのように進めるのか。

【町長】県は「買物環境確保推進交付金」を創設し、市町村が取り組む事業の経費・事業主体に負担額の2分の1、市町村に2千万円上限の補助制度を設けた。

具体的には、店舗整備・改修・設備整備など、様々なメニューがある。この機会を活かし、本町でも関係者と協議し進める。



全国各地の発掘商品、お得な食品を多数販売している「ゆるりんマート」（多世代交流センターゆるりん館内）

【米田】計画の支援メニューは既存の事業に支援することが確実な方法だと考える。一定の条件で、買物用タクシーチケットを交付してはどうか。

また、社協が行うのりあいバス事業や、まごころ配食サービスなどに経費の補助にとどまらず、

サービス向上が図られる支援を。

【町長】従来から実施されている社協によるのりあいバス事業、民間による移動販売などは地域の買い物環境確保、生活機能維持・活性化につながり重要。この交付金支援が必要な取り組みについて慎重に検討する。

带状疱疹ワクチンへの 助成制度創設を



のぶはら 信原
かずひろ 和裕

町長

肺炎球菌予防接種と 併せて検討



ワクチンの有効性90%、
持続性9年以上

【信原】带状疱疹は、水疱瘡ウイルスによって体力の低下した高齢者の3分の1が発症。腹部だけでなく、顔や目、耳などでも発症し、刺すような痛み・視力低下・めまい・顔面神経麻痺などの後遺症も見られる。

そのため、全国の自治体でワクチン接種助成制度が進み、東京都が実施し、鳥取県でも日野町・江府町・日南町が開始している。50歳以上が対象で、自己負担金が5千円から1万円になるように助成している。湯梨浜町でもぜひ、制度の創設を。

【町長】带状疱疹ワクチンは、予防接種法に基づく国が勧奨する定期接種と異なる任意接種で、国が審議中であることなどを踏まえ、現時点では助成は考えていない。今後引き続き、国の審議会、分科会の動向を注視したい。

町民の健康を守るという観点から、感染予防対策は重要な課題として捉えており、ワクチンを接種しやすい環境を整えることが有効。
コロナ禍で、肺炎で亡くなる人が沢山あり、肺炎球菌の予防接種と併せて検討したい。

迫る農業崩壊・食糧危機に 町はどう対応するか

町長

農地の集約化、経営体の育成 を図る

☆今、世界はウクライナ戦争などの影響で食料の争奪戦が深刻化し、日本でも食料不足が懸念される。

【信原】ここ15年間で、町内の農業者人口は半減し、耕作放棄地は2倍に拡大した。5〜15年後にはさらに進むと予想される。この課題解消に向けてどのような対策を取られるのか。

【町長】湯梨浜町農業経営基盤強化促進の基本構想で、目標を設定。令和5年の法改正で「農地利用の目標地図」を作成することになった。地域の話し合いを通じ、農地の集約化などの活動を行っている。



雑草雑木に覆われた農業振興地域

地域戦略として、生産基盤の整備、産物のブランド化、省力化、人材の育成確保を推進し、安定的に産地を担う経営体の育成を図る。

【信原】学校給食の食材に、町内産品を使用することで、地元の農家と農

地を守ることに繋がると考えるが、町長の所見を問う。
【町長】地産地消推進会議で検討し推進している。

食材は、価格・規格・安定数量の確保が必要で、納入業者・JAなどと連携し進めたい。

公営住宅入居の際の保証人は廃止を

町長

よく検討してみたい



増井 久美



建築中の町営住宅（松崎）

【増井】リークサイド長江団地の入居者に対して請書などの提出物を求めているが、何か相談はなかったか。

【町長】町営住宅入居には、連帯保証人1人を連署した請書を求めている。

22名の入居者のうち、2名の方より連帯保証人が見つからないという相談を受けた。別に期日を設けて、提出していただくよう案内をしている。

【町長】国からの通知については、県が周知しているが、これまで、きちんとした議論ができていなかった。

「連帯保証人制度」と「家賃債務保証業者等との契約」の併用などよく検討してみたい。

【町長】国からの通知については、県が周知しているが、これまで、きちんとした議論ができていない。

高年齢の方が保証人を探すのは大変であると思われるため、町として保証人制度を廃止するべきではないか。

【増井】当町の特別支援学級の中に「吃音」のクラスはあるのか。ないとしたら設けるべきではないか。

【教育長】吃音について個別な支援が必要な児童生徒については、医療関係者の意見などを総合的に勘案し、特別支援学級への入級を判断する。

【増井】こども園、学校の先生などに「吃音」に対する理解や支援の仕方の学習を求めるとともに、クラスの子どもたちにも吃音の理解をしてもらえるような対策を求めたい。

【町長】話すことに不安を感じることなく、園生活を送ることができるよう支援をしていく。

【教育長】学校では配慮が必要な児童生徒について、教職員間で共通理解をする場を設けている。子どもたちが吃音についての理解を深めるよう、支援していきたい。

吃音のある子どもへの支援と理解を

町長・教育長

特性に合わせて支援

吃音の正しい理解と支援のために
吃音のある子どものまわりの方へ

【吃音はこんな症状】
あ、あ、あした、あーした、あーした
あ、あ、あした、あーした、あーした
あ、あ、あした、あーした、あーした

【吃音啓発リーフレット】
（出典：広島市言語・難聴児育成会きつおん親子カフェ）

住民から寄せられた令和4年度 「行政、議会に対するご意見、ご提案」について

令和3年度と同様に「令和4年度住民と議会の意見交換会」は、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止といたしました。

意見交換会の開催時に依頼しました、町内の各団体、区長、PTAや保護者会などの関係の方に「行政、議会に対するご意見、ご提案」をいただきました。
いただいた提言やご意見の内容を取りまとめ、所管委員会において協議を行い、行政の担当部局などの返答を含め、一部を回答します。

北溟中学校跡地を子育ての拠点に

問 北溟中学校跡地に子育て支援の一体型拠点の構築を。

答 町では、旧北溟中跡地エリアを「にぎわいと活力を創出するエリア」と位置づけ、その一部を「たじりこども園」用地とした。それ以外の用地については、改めて、民間事業者などからの実施事業の提案募集を予定しており、地域の活性化及び産業振興を図っていく。



たじりこども園完成イメージ図

羽合小学校前の歩道について

問 羽合小学校前の町道の歩道を、自転車通学の中学生も安全に通れるよう交通ルールの例外的な運用を行う「自転車歩行者道」にしてほしい。

答 確認したところ自転車通行可の歩道にするには幅員が足りないとのことであった。交通ルールの啓発については引き続き行っていく。

横断歩道の塗り替えを

問 町内の横断歩道、特に通学路にあるもので色の薄くなっているものを塗り替えてほしい。

答 年に一度、町・県・警察が合同で通学路点検を実施しています。点検時などに倉吉警察署と情報共有を行う。

皆さんの声をお聞かせください

今年度は、住民と議会の「ふれあい意見交換会」を、次の日程で開催します。
みなさんのお越しをお待ちしています。

開催日	時間	会場
11月10日（金）	午後7時	中央公民館 第1・2会議室（東郷）
11月13日（月）	午後7時	中央公民館泊分館 研修室1・2（泊）
11月14日（火）	午後7時	役場羽合庁舎 別館講堂（羽合）

町民インタビュー

「若い人がチャレンジしやすい環境を作りたい」

ココ エジソン
COCO EDISON 三谷 侑生 さん（久留）



今回の町民インタビューのテーマは、「若者世代の交流」。湯梨浜で本を紹介し、感想を語り合うイベント「ブックミーティング」を主催するCOCO EDISONの三谷さんに議会だより編集担当がインタビューしました。

ブックミーティングを始めたきっかけは。

社会人になってから自己啓発本やビジネス本を読むのが趣味になりました。

本の内容を深く理解し生活を豊かにするために、内容をメモし、資料にまとめてよく周りの人に話していました。

また、楽しみながら地域のことを知ることができるので、公民館のイベントによく参加するようになりました。そこで、自分も地域でイベントを企画したいと思い、趣味の読書を活かしたブックミーティングを始めました。

9月に参加しましたが、参加者の熱いこもった発表を聞いて楽しかったです。

最初は自分の読書のアウトプットの機会と考えていましたが、他の参加者のプレゼンの仕方も勉強にな



ります。いろいろな方が参加されるので、自分が知らない知識や価値観を得る機会にもなっています。

もともとイベントを主催したりするのが好きだったのですか。

働き始めて、交流が大事だと感じました。職場の人事交流で大阪の民間企業に派遣された時、全く初めての職場だったので、積極的にコミュニケーションを取りました。またそこで異業種交流会にも参加する機会にも恵まれました。普段全く関わらないような人たちと交流し、

学ぶことが楽しかったです。

湯梨浜に戻ってきて、若い世代が交流できる場所があまりなかったので、自分で作ろうと思ったこともブックミーティングを始めたきっかけのひとつです。

湯梨浜が楽しい場所になるにはどうすればいいと思いますか。

若い人がやりたいことをやって、地域で楽しんでいくのが理想です。そのために、学生や20代、30代の方がチャレンジしやすい環境を作りたいですね。図書館・公民館の事業で、若い人の交流や企画をテーマに取り組んでほしいと思います。



ブックミーティング開催の詳細はインスタグラムまたは公式LINEまで

議会の傍聴をお気軽に

傍聴は議会の審議内容や、議会活動、町政の内容などを知ることのできる身近な方法です。どなたでも傍聴できますので、役場3階へお気軽にお越しください。議会の日程は、広報ゆりはま、防災無線放送、町ホームページでお知らせします。

次回の定例会は

12月8日(金)～
午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。詳しくは町ホームページへ。

編集後記

今年4月にこども家庭庁が発足しました。こどもの権利を守る取組みやこどもが社会参画できる環境づくりが国主導で進められています。10月から湯梨浜町でも「ゆりはま若者会議」がスタートします。

若者が主導する会議を通じて町の課題解決を図るといえるものです。もちろん、町の課題解決も重要ですが、若者の視点を大人が受け止めることがより重要です。ここでふと、大人も思いついたことや考えたことを受けとめてくれる場も必要では?と思いました。町民インタビューに答えてくれた三谷侑生さんが行うブックミーティングは、まさにそんな活動です。ぜひみなさまもご参加ください。

(記 中森)

【編集】

議会広報常任委員会